

信州大学医学部附属病院 特殊歯科・口腔外科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2017年9月5日

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	3796
研究課題名	習慣性(陳旧性)顎関節脱臼に対する関節結節切除術の有効性に関する多施設共同後ろ向き観察研究
所属(診療科等)	特殊歯科・口腔外科
研究責任者(職名)	山田 慎一(准教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2019年3月31日
研究の意義、目的	この研究は習慣性(陳旧性)顎関節脱臼の患者さんに行う関節結節切除術の有効性と治療結果に影響する因子を明らかにすることを目的としています。この要因が明らかになることにより習慣性(陳旧性)顎関節脱臼の患者さんの生活の質(QOL)の向上につながります。
対象となる患者さん	2007年1月1日から2015年12月31日の間に当院で習慣性(陳旧性)顎関節脱臼に対して関節結節切除術を受けられた患者さま。
利用する診療記録／検体	年齢、性別、顎関節脱臼の形態、咬み合わせの状態、治療の経過など
他機関から試料・情報の提供を受ける方法	電子的配信により提供を受けます
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、関節結節切除術の有効性について検討します。
共同研究機関名 (研究責任者氏名)	長崎大学大学院口腔腫瘍治療学分野 (責任者:梅田正博) 福井大学歯科口腔外科学講座 (責任者:吉村仁志) 鹿教湯病院歯科 (責任者:唐澤今人)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学 研究責任者:山田慎一
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 山田慎一(特殊歯科・口腔外科 准教授) 電話:(0263)37-2677

**【既存の診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査、検体の採取】の必要はありません。**

**患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。**

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

**この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。